



介護施設、住宅・店舗の設計、施工、運営を行い、デイサービスカフェを始め、世界規模で進む高齢社会の問題解決のために、サプリメントの開発にも取り組むだけでなく海外展開を開始し、果てはSDGsに貢献するために水事業も始めたMIYABI HOUSEの今をお伝えします。

## MIYABI HOUSEのいま

コウノメソッドメディカルクラブと勉強会を共催しました。

### 確固たる医療・介護従事者との連携を目指して

2023年10月29日(日)に、大阪梅田にて「コウノメソッドメディカルクラブ」主催のセミナーと勉強会を共催しました。

秋晴れの大阪梅田駅近くの会場には開場30分前から参加者が集まり始め、期待の大きさを感じました。

午前の一般の方を対象としたセミナーでは、コウノメソッドメディカルクラブ代表の河野和彦先生(名古屋フォレストクリニック 愛知県)が「認知症はどこまで治せるか」と題し、参加された介護家族や専門職に対して認知症は治療次第で改善することを、解り易くお話されました。

同じ日の午後開催された医療・介護従事者向けの「認知症治療勉強会」では、冒頭に行われたセミナーで磯部千明先生(札幌いそべ頭痛・もの忘れクリニック 北海道)が偏頭痛をメインテーマに、むずむず脚症候群に対するシンバル®Cの具体的な治療法についてお話され、講演会①では平川巨先生(池袋病院 埼玉県)が「私の認知症治療」と題して、様々な薬剤の効果的な使い分けについて丁寧にお話されました。

また、講演会②では河野和彦先生が「認知症の周辺と詳細な対応法」と題して、午前とは打って変わって医学的な治療方法についてお話されました。

午前の一般向け(定員200名)も午後の医療・介護従事者向け(定員150名)も満席となり、また非常に熱気のある素晴らしい会となりました。

参加された方々からは「こんなにも為になる話を聞けるとは思っていなかった」「同僚を連れてくればよかった」「スタッフにも聴かせたかった」と、多くの賛辞を頂戴しました。



## 商品のご紹介

### 「SYNBAL® (シンバル) ストロング」もグレードアップリニューアル

2023年3月に主成分の「ガーデンアンゼリカエキス」の抽出方法等を見直し、濃度を2倍にした原材料を使用しグレードアップリニューアルした「SYNBAL® (シンバル) マイルド カプセルタイプ」に引き続き、「SYNBAL® (シンバル) ストロング カプセルタイプ」もグレードアップリニューアルします。

1カプセル当たりのガーデンアンゼリカエキス全体量は50mgから37.5mgとなりますが、原料が2倍濃縮となりますことでガーデンアンゼリカエキス成分量は従来品の1.5倍相当となり、より一層体感していただけるようになりますことと確信致しております。

なお、定価(7,000円)、ガーデンアンゼリカ以外の主要成分(フェルラ酸、ダイゼイラム)各配合成分量、カプセル入数(120カプセル)、カプセルのグレード(耐酸性)は従来品と同じです。 ※2023年12月初旬より順次切り替え予定



形状：カプセルタイプ  
入数：120カプセル

お問合せは受注センターまで TEL: 0120-332-390

7,000円(税込)

## フィリピン「コンテナ型純水製造給水事業」設置後視察報告



本人

株式会社MIYABI HOUSEがフィリピンで展開する「コンテナ型純水製造給水事業」の設置後視察で、小坂（弊社代表）と野崎（東京支店長）はフィリピンへ飛びました。

雅家新聞の創刊号でもお伝えしたとおり、フィリピンでのサプリメント事業を開始した際、現地の方々から聞いたのは「サプリメントを飲むための安全な水が無い」という事実でした。

実際に小坂がフィリピンの地方へ行き、若干濁った黄色い水がペットボトルに入れられ、新品のミネラルウォーターとして販売されてる事実も知りました。

この状況を改善するためにミネラルウォーターの工場を建てたとしても、できたミネラルウォーターを地方へ運ぶのが大変です。

ならば、物流で活躍しているコンテナにろ過システムを詰め込み船やトラックで運ばばいいと考え、安全な飲料水を地域の皆様にお届けするために開始したのが**コンテナ型純水製造給水事業**。



初号機は2022年5月にフィリピン南部ミンダナオ島のダバオ空港から北へ車で2時間以上走って行ったタグム市外れの森の中に、株式会社JTB様のご支援をいただき設置しました。

道を切り拓いて設置されたコンテナでは井戸水や水道水をろ過システムで浄化し、安全な飲料水として2,000ℓ/日の濾過水を生産し、500～700人が1日に必要とする水を提供できます。（4ℓ/日計算）



この水は地域の方々へ無償で提供される他に学校や近隣のお店に1ガロン(20ℓ)20ペソ(約50円)で販売され、大学敷地内への「コンテナ型純水製造給水機」の設置も検討されています。

## MIYABI HOUSE 今昔物語

## その3 フィリピン進出の契機

小坂が認知症医療や介護に取り組むなかで出会ったのが、現在の主力事業の一つであるメディカルサプリメントですが、加えて外国人介護人材の行き来をきっかけに、介護の後進国であるフィリピンにも目を向けることとなります。

フィリピンの介護施設や重度の認知症の方が生活されている施設をみせてもらう機会があり、入居者の多くが薬の副作用で苦しんでいることを看護師から聞きましたが、それは、小坂が日本で介護事業をおこなう際に接してきた方々が受けていた、苦しみや悲しみと一緒にでした。

日本は認知症介護に20年以上の歴史がある。そして、フィリピンは日本の20年前と同じスタートラインにある。

日本が誇る認知症治療法マニュアル「コウノメソッド※」をいち早く持っていけば、こんなにも苦しむことはないし、今後は苦しむ人がでないはず。と強く思いました。それが、フィリピンへ進出する切っ掛けです。



※ 陽性症状の強い認知症でも家庭介護が続けられるように薬剤を処方することを最優先として、認知症の行動・心理症状（BPSD）を陽性症状、陰性症状、および中間症に分類し、それぞれに最も適した薬剤を極力少ない副作用で処方する、認知症を治療する対処療法・薬物療法マニュアルです。

河野和彦（医学博士、認知症専門医）医師によって2007年に提唱され一般公開されました。

## 株式会社MIYABI HOUSE

住所：愛知県刈谷市恩田町3丁目159-15

電話：0566-93-5301

URL：https://miyabihouse.co.jp/

E-mail：info@miyabihouse.co.jp

## 編集後記

2023年10月29日に開催したコウノメソッドメディカルクラブ主催セミナー＆勉強会の報告と、11月2日～7日に視察したフィリピン視察報告を掲載するため、今月号に限り通常のスケジュールから約1ヶ月遅れての発行となっています。ご理解ください。（野崎）